

# 平成24年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年9月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	995億円余
2. 前年同月比	0.2% (店舗数調整後/3か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.2%(88.3%) : 非店頭0.5%(11.7%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	911,369㎡ (前年同月比: 0.8%)
6. 総従業員数	19,030人 (前年同月比: -0.4%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 6.1%、2-4月 10.2%、3-5月 11.3%、 4-6月 2.8%、5-7月 0.2%、6-8月 -0.4%

[参考] 平成23年8月の売上高増減率は-2.9% (店舗数調整後)

### 【8月売上の特徴】

- (1) 東京地区でも盛夏アイテムを中心に主力の衣料品(+3.0%)が好調に推移した。婦人・紳士・子供・その他、全ての分類項目で前年実績を上回っている。
- (2) 都内各店の入店客数は、記録的な猛暑やオリンピックTV観戦による出控え、更には改装工事による一部売場閉鎖の影響などがあった一方で、今年開業した話題スポットの効果で東京への観光客が増加したことなどから、ほぼ前年並みに推移した。
- (3) 食料品についても2か月ぶりのプラスとなった。特に、菓子(+4.9%)については、夏休み期間中の東京観光土産やお盆の帰省ギフト需要が盛り上がり活況であった
- (4) 化粧品も4.1%増と比較的大きな伸びを示した。この背景には、猛暑によるUV対策需要の高まりのほか、都内数店で行われた化粧品売場の改装効果もある。
- (5) 都内各店の9月中間段階の商況は、長引く残暑の影響で秋物の動きが鈍いこともあるが、複数の店舗で改装効果が出ており、全店平均では前年を上回る状況で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した: 2店、②変化なし: 7店、③減少した: 10店
- (3) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上 (同上/有効回答数15店舗)  
①増加した: 4店、②変化なし: 10店、③減少した: 1店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)  
①増加する: 3店、②変化なし: 14店、③減少する: 2店、④不明: 1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2012年08月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>99,527,099</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2 ( 0.1)</b>
紳士服・洋品	5,874,392	5.9	0.3 ( 6.7)
婦人服・洋品	17,365,745	17.4	2.4 ( 1.6)
子供服・洋品	1,633,943	1.6	8.2
その他衣料品	2,263,333	2.3	11.6
<b>衣 料 品</b>	<b>27,137,413</b>	<b>27.3</b>	<b>3.0 ( 3.9)</b>
身のまわり品	13,848,634	13.9	1.0 ( -0.2)
化粧品	6,059,419	6.1	4.1 ( 4.3)
美術・宝飾・貴金属	5,909,159	5.9	-4.2 ( -4.0)
その他雑貨	5,563,768	5.6	-10.9 ( -10.8)
<b>雑 貨</b>	<b>17,532,346</b>	<b>17.6</b>	<b>-3.9 ( -3.7)</b>
家具	1,780,039	1.8	-4.8
家電	610,748	0.6	17.1
その他家庭用品	3,628,544	3.6	-7.6 ( -8.6)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>6,019,331</b>	<b>6.0</b>	<b>-4.8 ( -5.4)</b>
生鮮食品	4,512,758	4.5	3.5
菓子	8,184,805	8.2	4.9
惣菜	6,255,861	6.3	5.4
その他食料品	7,852,784	7.9	-6.3 ( -7.1)
<b>食 料 品</b>	<b>26,806,208</b>	<b>26.9</b>	<b>1.2 ( 1.0)</b>
食堂 喫茶	3,412,327	3.4	-0.6 ( -1.4)
サービス	2,132,273	2.1	4.0 ( 4.8)
<b>そ の 他</b>	<b>2,638,567</b>	<b>2.7</b>	<b>-4.0 ( -5.7)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)  
※

商品券	2,616,099 千円	-20.0 ( -20.3)
従業員数	19,030 人	-0.4
店舗面積	911,369 m <sup>2</sup>	0.8

営業日数	30.6 日	前年	30.6 日
------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が3か月ぶり、食料品が2か月ぶりのプラス、身のまわり品が6か月連続のプラス。マイナスは雑貨、家庭用品。紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品が3か月ぶり、化粧品、生鮮食品が2か月ぶりのプラス、その他衣料品が2か月連続、家電、菓子が7か月連続、惣菜が13か月連続のプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	0.2	—	3か月ぶりプラス
紳士服・洋品	0.3	0.0	3か月ぶりプラス
婦人服・洋品	2.4	0.4	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	8.2	0.1	3か月ぶりプラス
その他衣料品	11.6	0.2	2か月連続プラス
<b>衣料品</b>	3.0	0.8	3か月ぶりプラス
<b>身のまわり品</b>	1.0	0.1	6か月連続プラス
化粧品	4.1	0.2	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	-4.2	-0.3	7か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-10.9	-0.7	4か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	-3.9	-0.7	2か月連続マイナス
家具	-4.8	-0.1	2か月連続マイナス
家電	17.1	0.1	7か月連続プラス
その他家庭用品	-7.6	-0.3	4か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	-4.8	-0.3	2か月連続マイナス
生鮮食品	3.5	0.2	2か月ぶりプラス*
菓子	4.9	0.4	7か月連続プラス*
惣菜	5.4	0.3	13か月連続プラス*
その他食料品	-6.3	-0.5	3か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	1.2	0.3	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	-0.6	0.0	3か月連続マイナス
サービス	4.0	0.1	3か月連続プラス
<b>その他</b>	-4.0	-0.1	4か月連続マイナス
<b>商品券</b>	-20.0	-0.7	16か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>